

発生頻度の低い不整脈を検出できるイベント心電図検査を始めました



平成26年11月4日 第296号



社会医療法人
岡村一心堂病院

より良い医療を 岡山市東区西大寺南 2-1-7
地域の人々に Tel 086-942-9900

URL : <http://www.isshin.or.jp/>

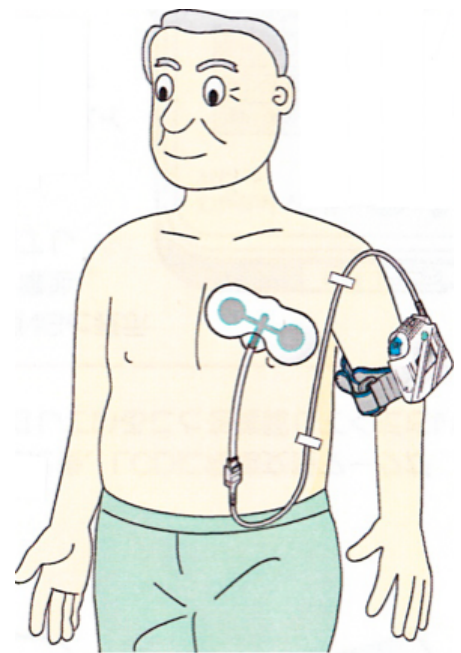
E-mail : info@isshin.or.jp

発生頻度の低い不整脈を検出できるイベント心電図検査を始めました

生体検査室

不整脈の診断のためには通常、安静時12誘導心電図検査やホルター心電図検査が行われます。しかし、安静時12誘導心電図検査の記録は10秒と短時間です。ホルター心電図検査では24時間の連続記録ができますが、やはりこの期間に不整脈が出なければ診断できません。また、通常ホルター心電図装着中はお風呂に入れません。このように、従来の検査では発生頻度の低い不整脈は検出が難しいのが現状でした。

そこで、今回導入されたのがイベントレコーダーという機械です。イベントレコーダーはホルター心電図検査より長時間の記録が可能で、最長6日間検査を行うことができます(3日後電池、電極の交換が必要)。胸に心電図電極のシールを貼り付け、機械は腕にベルトで取り付けます。機械は防水性なのでお風呂に入ることができます。患者さんに胸痛などの症状が出た時には、機械のボタンを押して頂くことで、前後の心電図が記録される仕組みになっています。また、機械が不整脈発作を自動的に感知することもできます。自覚症状の原因精査を目的とした不整脈や虚血性心疾患の兆候などの早期発見や早期治療に有効な検査です。



入浴について

イベントレコーダーの機械本体は防水性なので、入浴することが可能です。胸に貼り付ける電極は3日間入浴しても剥がれないようになっていますが、電極が濡れている間は心電図の波形が記録できません。湯船に入る場合にはできるだけ電極が水につからないようご注意ください。また、シャワーで電極が濡れた場合には、タオルを押し当て水分をよく吸い取って下さい。